

高度堆肥脱臭システム、臭気マッピング手法の開発 畜産経営における悪臭低減技術の高度化



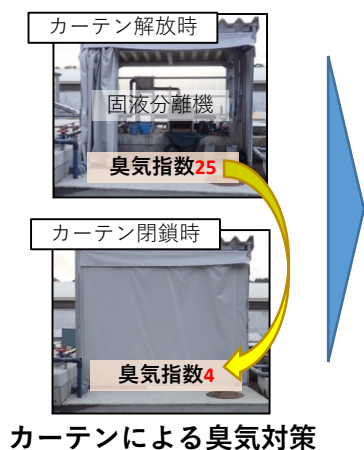
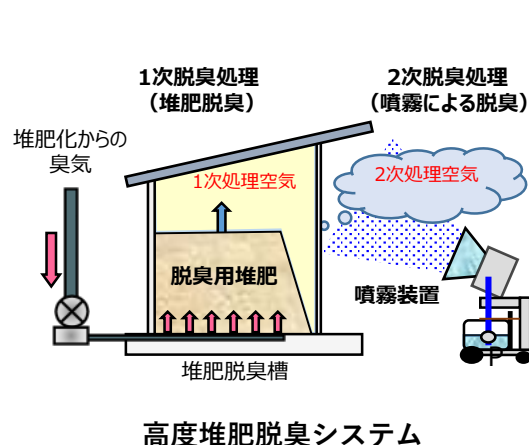
イメージ

苦情の過半を
占める「悪臭」を
見える化、
アンモニアを
9割以上除去

畜産に起因する悪臭の低減に向けて、堆肥化处理施設から発生するアンモニアを9割以上除去することができる「**高度堆肥脱臭システム**」を開発し、熊本県や鹿児島県で導入されています。

また、農場全体の臭気の状態を把握できる「**臭気マッピング手法**」を開発し、栃木県では、本手法を活用して20件以上の畜産農家で悪臭分布を調査し、カーテンなどの臭気対策を実施しています。

今後、実施施設へシステムを導入することで、周辺への臭気漏れを防止し、**畜産経営への理解が進むことが期待**されます。



悪臭低減！



畜産経営への
理解促進！



研究代表機関

農研機構

プロジェクト名

畜産・酪農の生産力強化のための技術開発

研究期間

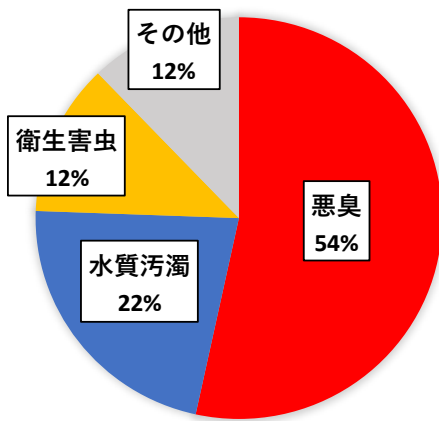
平成27年度
～29年度

共同研究機関：茨城県、栃木県、神奈川県、石川県、山梨県、宇都宮大学、山梨大学

研究背景

畜産に起因する苦情は「悪臭」に関するものが過半を占めています。

そこで、対策技術の開発が進んでいないふん尿処理過程からの悪臭の発生、拡散を低減する技術の開発が求められていました。



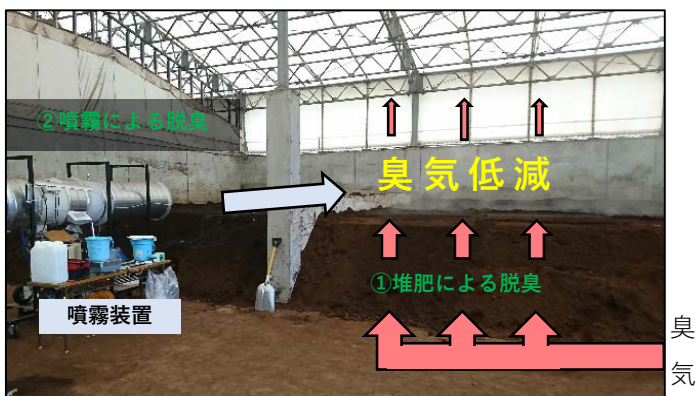
平成30年度苦情別発生割合
(出典：農林水産省畜産部調べ、
農林水産省「畜産統計」)



臭気が問題となる堆肥化処理施設

主要な成果

- 1 堆肥化処理施設に、堆肥脱臭と酸・アルカリ溶液噴霧脱臭を組み合わせた技術を導入し、「高度堆肥脱臭システム」を開発
→ 特定悪臭物質である**アンモニア**を**9割以上**除去
- 2 ニオイセンサとGPSを組み合わせた「臭気マッピング手法」を開発
→ 農場全体の臭気の状態の俯瞰的な把握を可能とし、**対策の対象を明確化**



高度堆肥脱臭システム



ニオイセンサとGPSを用いて
農場全体の臭気の状態を把握する
「臭気マッピング手法」